

令和6年度 学校評価報告（中学校）

《総評》

保護者の皆様からのアンケート回収率は80.4%でした。
ご回答いただきました保護者の皆様に、改めて感謝申し上げます。

昨年度と比較すると、ほとんどの項目において保護者・生徒とも満足度がやや下がりました。学校の活動として前年度から大きく変更を加えた部分はないことから、学習や生活指導、クラブ活動などあらゆる面で見直しが迫られているように感じています。

重要度が高いにもかかわらず満足度の低い項目として、『Q3：わかりやすい授業』、『Q4：学習へのサポート体制』という学習面に関するものが挙げられ、特に中学1年生で顕著になっています。英語や数学は、小学校の学習と中学校の学習では大きな差があるので、このギャップを早い段階で解消していかなければなりません。

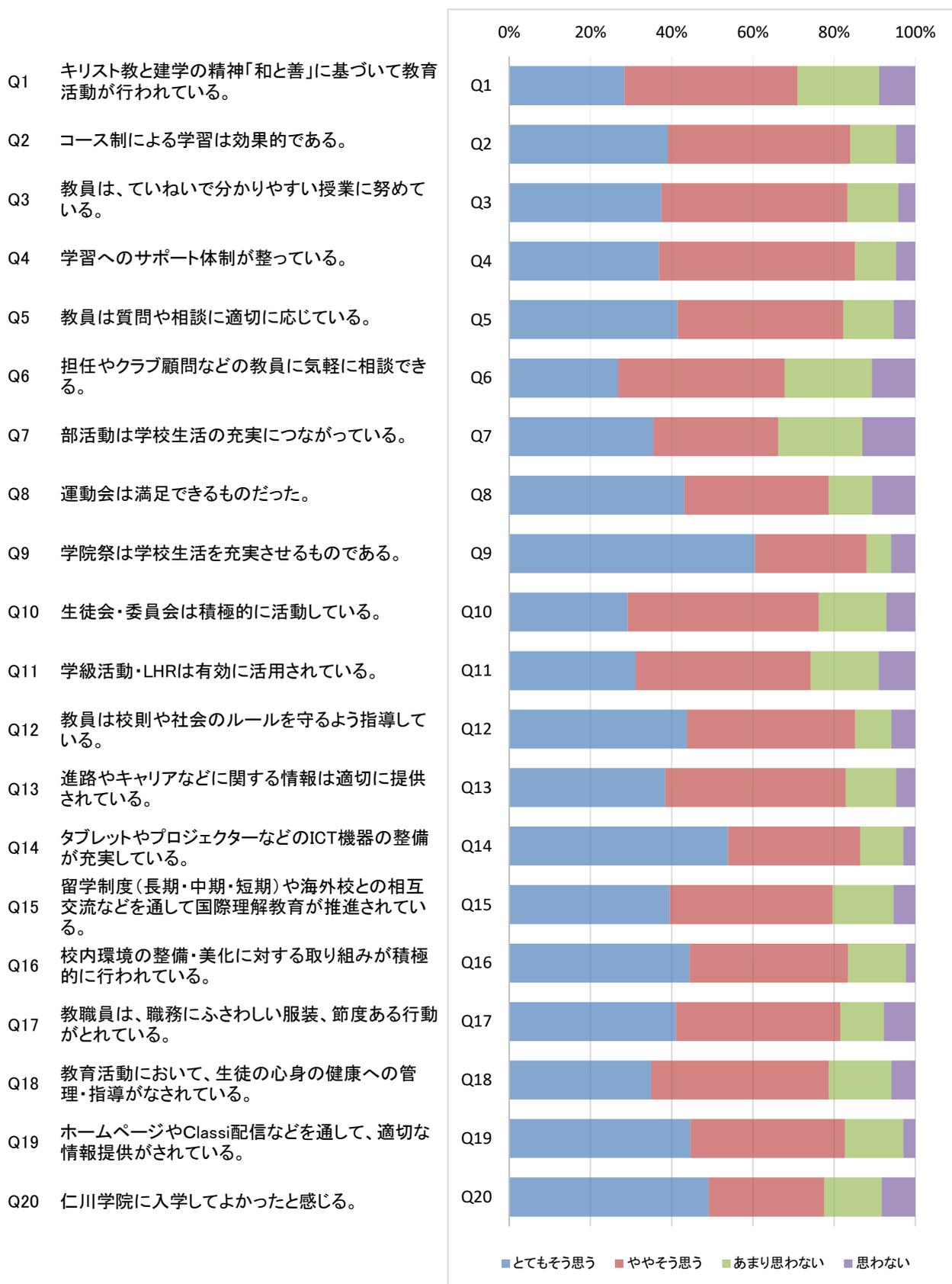
『Q6：教員に気軽に相談できる』という項目は、生徒と保護者とで満足度に大きな差があります。生徒には思春期で悩みの多い時期への寄り添った指導を、保護者にはこまめな連携が重要です。

『Q8：運動会』は、天気予報を見ながら決行したものの、途中で激しい雨により中止となりました。次年度はこのような事態を回避できるよう、慎重に開催可否を判断します。

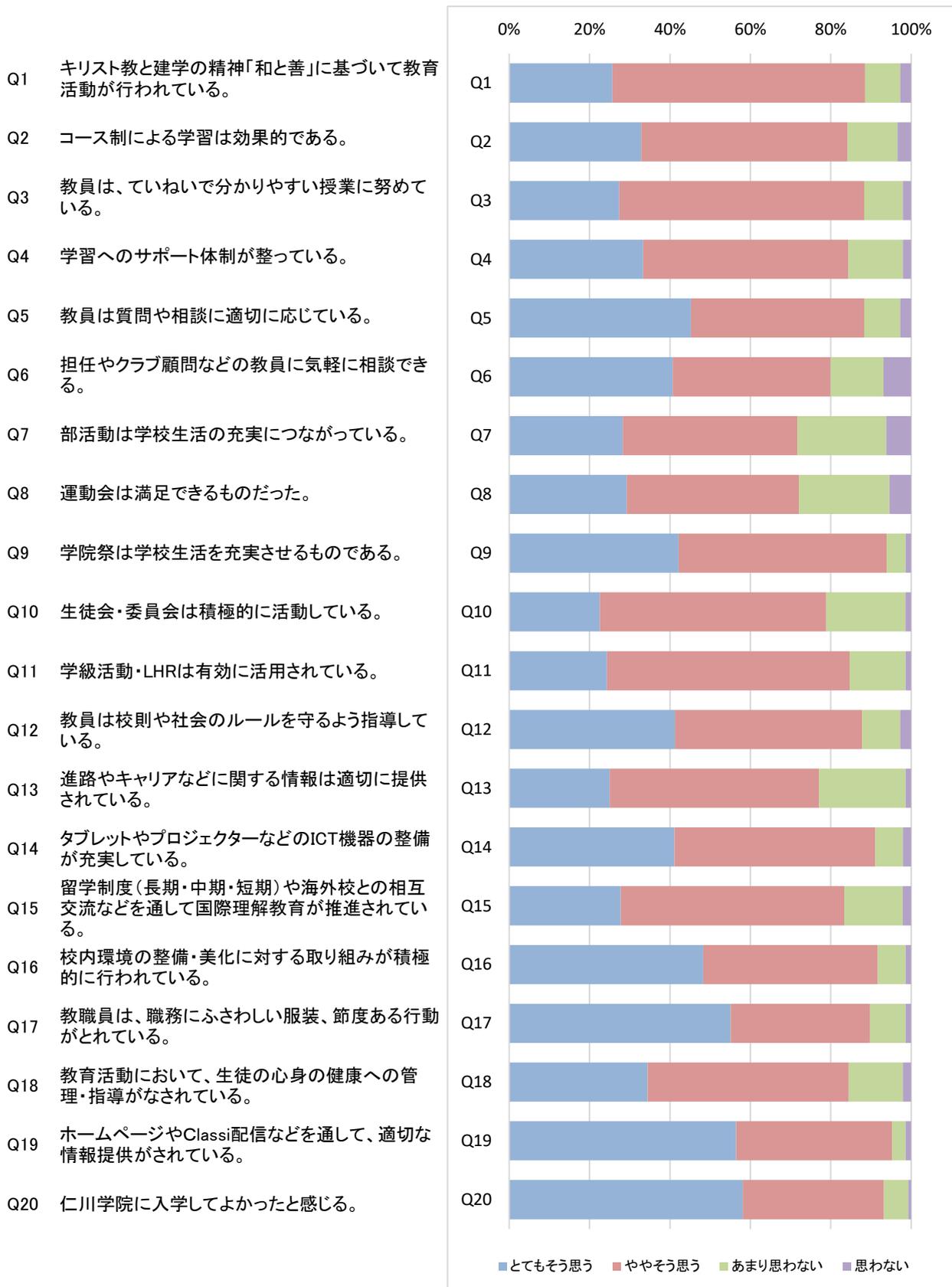
『Q13：進路・キャリアの情報』は、長年の課題がそのままになっています。各学年で、高校進学に向けたコース別説明会や内部進学説明会、卒業生講話などを企画・実施しておりますが、生徒・保護者の皆様にとって必要な情報や内容を提供できていないところに大きな原因があると考えています。まずは教員間で情報を共有し、情報を発信できるようにいたします。

このような反省点がいくつもある中で、『Q20：仁川学院に入学してよかったと感じる』という項目は前年度とほぼ変わらない水準での満足度をいただくことができました。私学として、教育がより一層充実したものとなるように、誠意を持って対応していきたく存じます。

学校評価アンケート 中学校(生徒)



学校評価アンケート 中学校(保護者)



学校評価アンケート 中学校(教員)

